

婦人科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 再発リスクを有する子宮頸がんに対する術後補助療法に関する調査研究

[研究機関] 北海道医療センター婦人科

[研究責任者] 婦人科医長 齋藤裕司

[研究の目的]

非扁平上皮癌である子宮頸部腺癌は扁平上皮癌に比べて予後不良であるとする報告が多いですが、現時点では子宮頸部腺癌に対する治療は扁平上皮癌に準じて行われています。子宮頸部腺癌の治療成績を向上させるためには、子宮頸部腺癌に対するより効果的な治療を確立せねばなりません。

子宮頸部扁平上皮癌に対して手術療法を選択することが多い本邦においては、再発リスクを有する子宮頸部腺癌に対する最適な術後補助療法を確立することが重要と考え、術後補助療法の現状を把握するために本調査が計画されました。

[研究の方法]

・対象となる患者さん

2008 年に当院の前身である西札幌病院において広汎子宮全摘術を施行した小細胞癌と未分化癌を除く子宮頸部非扁平上皮癌および扁平上皮癌 IB-IIIB 期の方

・利用するカルテ情報

患者背景：年齢、組織型、進行期、手術日、術後補助化学療法開始日・終了日、初回再発日、再発部位、予後確認日、予後

再発リスク：腫瘍径、リンパ節転移、傍結合組織浸潤、頸部間質浸潤、脈管侵襲、体部浸潤、腹水細胞診、卵巣転移

術後補助療法：術後補助療法の有無、術後補助療法の詳細

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市西区山の手5条7丁目1-1

北海道医療センター婦人科 担当医師 齋藤裕司

電話 011-611-8111 FAX 011-611-5820